



犬の噛み痕のある土器 📷
(唐古・鍵遺跡) [田原本町教育委員会提供]

かいぬしは いたの？

なにが すきななの？

どれくらいの おおきさなの？

令和7年度後期企画展

ワンちゃんたちの アロフイール

—縄文から古墳まで—

なにが とくいなの？



弥生時代のイヌの骨 (田能遺跡)

2025

10/4(土)

12/14(日)

どんな かおを しているの？



弥生犬 海渡 📷
[大阪府立弥生文化博物館提供]

尼崎市立歴史博物館
田能資料館

令和7年度後期企画展

ワンちゃんたちの プロフィール —縄文から古墳まで—

イヌは最も古くからヒトのそばで生きてきた動物だといわれています。日本では、約1万年前の縄文時代にはイヌがいたことがわかっています。では、彼らはどんな生活をして、どんな特徴をもち、どのようにヒトと関わっていたのでしょうか？昔を生きたイヌたちの特徴やチャームポイントをプロフィールとしてまとめてみました。

1. 縄文のワンちゃん



イノシシの骨
(現生資料)



イヌの骨格 (中世近世：大物遺跡)
[尼崎市立歴史博物館蔵]

◎ 縄文犬飛丸
(藤原観音堂貝塚)
[船橋市飛ノ台史跡
公園博物館提供]

2. 弥生のワンちゃん



◎ 骨折や解体痕の残るイヌの骨
(青谷上寺地遺跡) [鳥取県提供]



石の鏝
(田能遺跡)



弥生時代のイノシシの骨
(田能遺跡)

3. 古墳のワンちゃん



◎ 縄向犬 (縄向遺跡)
[桜井市教育委員会提供]

◎ のマークがある資料は写真を展示します。

※体験学習会など展示・学習室でのイベント開催時は、企画展をご覧いただけない場合があります。詳しくはホームページまたは電話でご確認ください。

展示解説会とワークショップ

・展示解説会

10月26日(日) / 11月30日(日)

いずれも 14:00 ~ 14:30

申し込み不要。当日直接会場へ

・オープン粘土でワンちゃんをつくろう

10月26日(日) / 11月30日(日)

いずれも 10:30 ~ 12:00

参加費：1人400円

定員：各回先着10名

要申込：10月11日(土)

10時より電話で受付



◎ 犬型土人形 (尼崎城跡)
[尼崎市立歴史博物館蔵]

尼崎市立歴史博物館 田能資料館

開館時間：午前10時～午後5時(最終入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(祝日の場合はその直後の平日)

年末年始(12月29日～1月3日)

入館料：無料

〒661-0951 兵庫県尼崎市田能6-5-1

TEL/FAX：06-6492-1777

https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/manabu/104ama_tano/index.html

田能資料館